

授業科目	対象別公衆衛生看護活動論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	布花原 明子						
授業概要	実務家教員として保健師の経験を生かし、地域の特定集団がもつ共通の課題を理解し、地域を基盤として展開する公衆衛生看護活動を解説します。授業では、ライフステージごとに母子（親子）保健活動、成人保健活動・生活習慣病対策、高齢者保健医療福祉活動を学びます。健康課題別では、感染症保健医療活動、障がい者（児）保健医療活動、精神保健医療福祉活動、難病保健活動について学びます。地域を看護の対象とする保健師は社会資源を最大限に活用し、また多職種や関係者と連携・協働し、地域の健康課題を解決するための活動を展開します。そのためには、各活動分野の現状と課題、対策と法制度の知識が必要となるため、授業だけでなく事前・事後課題と合わせて理解を進めていきます。						
授業形態	対面授業	授業方法					

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 公衆衛生看護活動の対象集団がもつ健康課題を説明できる。(DP1-2, 2-1) 2. 保健医療福祉の制度と対策、主な事業内容と、その中で公衆衛生看護が担う役割を説明できる。(DP2-1) 3. 公衆衛生看護活動の展開方法を用いて、各分野の公衆衛生看護活動を説明できる。(DP2-1, 4-2) 4. 保健医療福祉の関係機関、専門職種との連携と保健師の役割について説明できる。(DP3-2)
理想的レベル	標準的なレベルに加えて、講義で取り上げる対象集団の課題について社会で話題となっている出来事と関連づけて説明できることや、各分野の公衆衛生看護活動を保健師ジャーナルの特集等で取り上げられている活動事例を用いて、具体的に説明できるとよい。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	30%	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	20%	事前事後課題の成果物
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21506J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

講義内容の予習・復習 第1回授業で提示された予習及び復習課題	4
-----------------------------------	---

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 公衆衛生看護活動における「平等と公平」 主要な健康課題と生涯を通じた健康づくり 担当：布花原明子
	<成人保健活動①> 主な健康課題とポピュレーションアプローチを用いた公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第2回	<成人保健活動②> 主な健康課題とハイリスクアプローチを用いた公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第3回	<母子保健活動①> 主な健康課題と母子保健体系および法制度 切れ目のない母子保健活動に向けた体制づくり 担当：布花原明子
第4回	<母子保健活動②> 子どもの虐待予防・防止の対策と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第5回	<高齢者保健活動①> 健康寿命の延伸と高齢者の健康課題 課題解決のための高齢者保健対策及び法制度 担当：布花原明子
第6回	<高齢者保健福祉活動②> 地域の主要な健康課題（フレイル、認知症）と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第8回	小テスト ライフステージの対象特性と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第9回	<健康課題①感染症保健医療活動> 感染症の動向と法制度に基づく対策 感染症の流行及び発生時の公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第10回	<健康課題②感染症保健医療活動> 再興感染症（結核）の疾病管理 担当：布花原明子
第11回	<精神障害者保健医療福祉活動> 地域に暮らす精神疾患をもつ対象（家族含む）への公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第12回	<精神保健活動> ライフステージにおける心の健康づくり対策と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子

第13回	<p>&lt;障がい者保健医療福祉活動&gt;</p> <p>障がい者保健の理念</p> <p>障がい者への支援制度及び公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第14回	<p>&lt;難病保健活動&gt;</p> <p>難病を抱える人々の療養生活を支える法制度</p> <p>難病患者への支援と地域ケアシステムの構築</p> <p>担当：布花原明子</p>
第15回	<p>保健師活動指針の視点からライフステージ・健康課題別の公衆衛生看護活動を展望する</p> <p>担当：布花原明子</p>
テキスト	<p>標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院）</p> <p>公衆衛生がみえる 2024-2025 *1年生「公衆衛生学」テキスト</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>保健師ジャーナル（医学書院）</p> <p>国民衛生の動向（厚生統計協会）</p> <p>保健師業務要覧（日本看護協会出版会）</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題は、第14回授業終了後に作成したファイルを提出して下さい。ファイル返却時に評価結果を返却します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>この授業では、公衆衛生看護学概論で学んだ、個/家族、集団（組織）、地域を対象とした公衆衛生看護活動の展開を、保健師の活動分野に沿って具体的に学びます。関連する科目は、1年次「社会保障概説」、「保健統計学」、「健康教育論」、「感染と免疫」、2年次で履修する小児、母性、成人、老年、精神看護学の科目です。知識を関連づけて理解を深めていきましょう。</p> <p>また、予習及び復習の課題は、第1回授業時に全回分を提示します。他の授業課題と両立させて計画的に取り組んで下さい。</p> <p>そして、保健師ジャーナルには各授業のテーマに関する実践活動が紹介されています。興味のあるテーマは、積極的にテキスト以外の文献を検索し読んでみられることを期待します。</p>

